

みんなが楽しく交流できるように「モルック」について研究しました

ルールを参加者に合わせたり、室内でゲームができるように道具を工夫したりして、障害の有無にかかわらずモルックを楽しむことができるように研究を重ねました。モルックを通じて楽しく交流し、様々な場所で新たな人と人とのつながりが生まれました。



手作りの紙製モルック めくり式のルール説明ボード

モルック体験交流会



参加者に合わせたコートサイズで実施し、年齢、性別、障害の有無にかかわらず、楽しく交流ができました。

デフリンピック応援イベント



情報の伝え方を工夫し、聴力に障害のある方々も楽しむことができました。

秋田市身体障がい者スポーツ交流大会



動線に配慮した場の設定をすることで、安全にモルックを楽しむことができました。

聴覚障害者の立場で街歩き アルクベ・イウベ・キクベ〜デフバージョン〜

モルックを通じた聴覚障害者団体の方々との出会いをきっかけとして、新たな学習プログラムである、「アルクベ・イウベ・キクベ〜デフバージョン〜」の体験会を行いました。参加者は、ヘッドホンを装着し、そこから聞こえるノイズによって周囲の音が聞こえない状態で「買い物しよう」「手話を使ってコミュニケーションをとろう」などの様々なミッションに取り組みました。体験を通して聴覚障害者が抱える困難さを感じ取り、誰にとっても優しい社会をつくるために、自分に何ができるのかを考えました。



障害の有無にかかわらず、だれもが楽しむために必要なこと

〜3つの「場」を意識的につくる〜

1 楽しそうな「場」をつくる ~自分ができるところを一つ一つ積み重ねる~

- ・楽しい活動にするために、まず自分が率先して体験、経験しましょう。
- ・形や大きさにこだわらずに、できる範囲でみんなが楽しめる場づくりを進めましょう。大きな目標をもちつつも、最初は小さく動き、まずは一歩を踏み出しましょう。
- ・機会を作れない理由を考えるよりも、どうしたらできるのか手立てを考えましょう。

2 気軽に行ける「場」をつくる ~いつでも集まれる場所には安心が生まれる~

- ・活動しやすい広さや使いやすい設備なども大事ですが、いつでもみんなが集える場所が身近にあることが大切です。利用者にとっては、周囲とつながっている安心感が生まれます。今ある場などをちょっと工夫してみましょう。

3 話し合える「場」をつくる ~話し合うことで自分ごとになる~

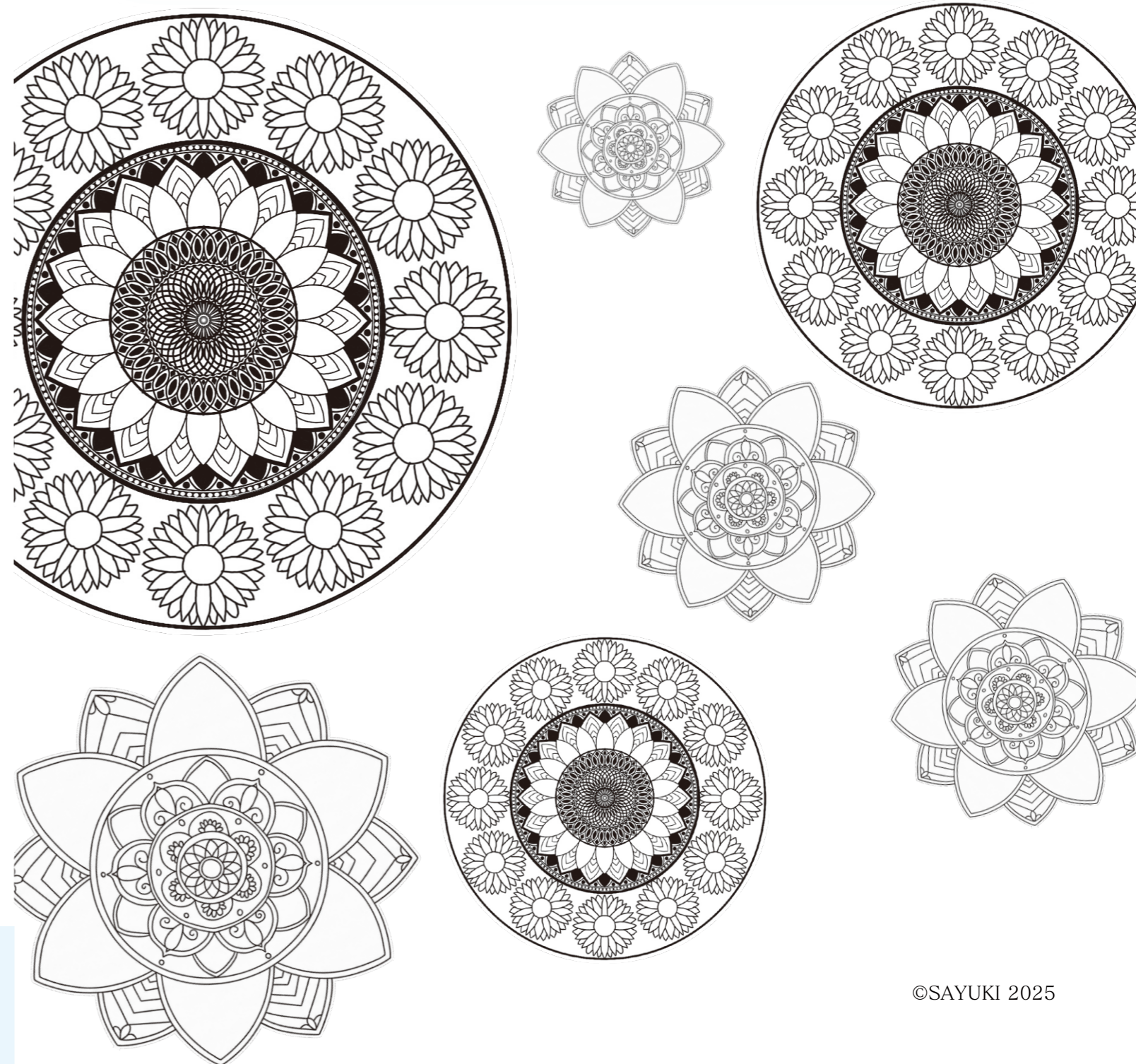
- ・楽しかった経験や体験を共有し、話し合うことで、自分ごとになっていき、みんなが考えていることがなんとなくわかります。それが次の活動や新しいアイデアにつながります。少しの時間でも感想を伝え合える場を設定しましょう。

秋田県生涯学習センター
令和7年度調査研究事業

秋田県教育委員会

障害のあるなしにかかわらず
みんなで学べる場をつくってみたら

笑顔がつながり広がった



「楽しい学びの場をつくりたい」

そんなときは

秋田県生涯学習センターへ

秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田市山王中島町1番1号

TEL 018-865-1171 FAX 018-824-1799

E-mail sgcen002@mail2.pref.akita.lg.jp

U R L <https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/>



〈センターWebサイトへ〉

楽しい学びの場で**笑顔**をつなげよう、広げよう！

まずはやってみたら

笑顔が繋がった！

北秋田市では、障害福祉サービスの利用者や市民の方々が参加し、「みんなでいっしょに楽しもう！モルック&ボッチャ」を開催しました。また、八峰町では「親子でアウトドア防災」を開催し、特別支援学級在籍児童と保護者が楽しみながら防災について学びました。

一步踏み出して学びの場をつくることで、参加者同士はもちろん、市町関係職員、秋田県生涯学習センター職員など、その場に集ったみんなの笑顔が繋がりました。



交流を楽しんだ「ボッチャ体験」
(北秋田市)



メスティンで「炊飯体験」
(八峰町)

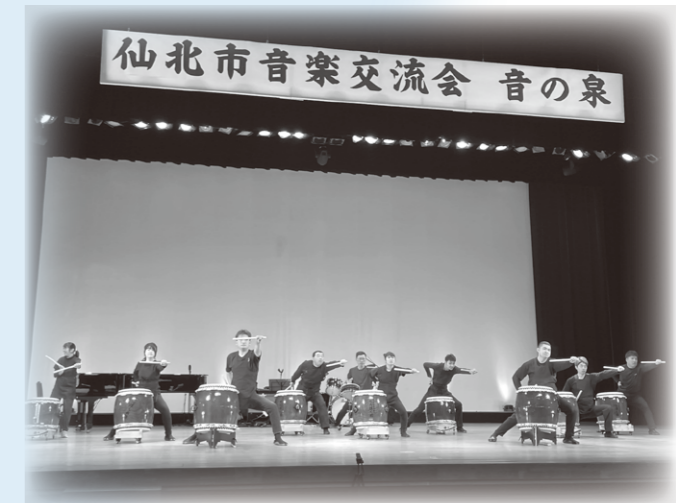
楽しい学びの場づくりを続けたら

笑顔が広がった！

仙北市では、中央公民館がつなぎ役となり、特別支援学校、障害者支援施設、秋田県生涯学習センターと連携・協働しながら障害者の生涯学習を推進しています。令和4年度からスポーツ体験や防災教室、和太鼓体験教室等に継続して取り組み、障害の有無にかかわらず、つながりが年々深まっています。その中で、公民館職員と障害のある方々が「どんな学びをしたいのか」について話し合う機会を設けたことで、和太鼓の発表や歌唱教室（カラオケ）、料理教室等の新たな取組が企画され、様々な場所でみんなの笑顔が広がりました。



特別支援学校卒業生のニーズに沿った、
プロの太鼓演奏者による和太鼓体験教室



学んだことを生かし、仙北市音楽交流会
「音の泉」で和太鼓演奏を披露

笑顔がつながる、広がる学びの場の作り方

- Q** 障害の有無にかかわらず、みんなが学べる場をつくりたいけど、最初は何をしたらいいの？
- A** 地域には、特別支援学校や特別支援学級、障害者支援施設、障害者支援団体等、障害のある方々が学んでいる学校や支援する施設、団体等がありますので探してみましょう！様々な情報やアイデアを得ることができます。

- Q** 学びの場をつくる時に、どんな工夫をしたらいいの？
- A** 既存の講座をベースにしたり、様々な場所で行われている学習会や行事などとコラボしたりする方法が考えられます。例えば秋田県生涯学習センターでは、障害の有無にかかわらずみんなが楽しめるようなスポーツや現代的な課題である防災などのコンテンツを中心に講座をつくっています。